

平成 28 年度  
立正大学大学院地球環境科学研究科  
環境システム学専攻  
第 2 回 中間発表会

日時：2016 年 10 月 26 日（水） 13:00 - 16:25

会場：熊谷キャンパス・アカデミックキューブ A202 教室

13:00 - 13:05 開会

<M1 発表> 発表 10 分 + 質疑応答 5 分（計 15 分） 座長：下岡順直

13:05 - 13:20 永瀬健太（岩崎研）

谷津干潟におけるアオサに付着するカイアシ類の生態学的研究

13:20 - 13:35 浅石 望（吉崎研）

吊るし雲の数値モデルによる再現実験

13:35 - 13:50 山崎優佑（須田研）

ホッピングを行う鳥類と行わない鳥類の判別方法

13:50 - 14:00 休憩

<M2 発表> 発表 13 分 + 質疑応答 7 分（計 20 分） 座長：青木和昭

14:00 - 14:20 谷口健太（北沢研）

谷津干潟の潮流口における地形とアオサの関係

14:20 - 14:40 千葉明日香（川野研）

西南日本の顕生代泥質變成岩の炭素・窒素同位体比

14:40 - 14:50 休憩

<D 発表> 発表 13 分 + 質疑応答 7 分（計 20 分） 座長：鈴木パーカー明日香

14:50 - 15:10 船生泰寛（河野研・安原研）

不定期に出現する湖沼の水收支 一赤城山山頂火口湖「血の池」の事例一

15:10 - 15:30 町田和彦（須田研）

ヤマコウモリ（*Nyctalus aviator*）の季節的移動様式と繁殖生態に関する研究

15:30 - 15:40 休憩

<D 発表続き> 発表13分+質疑応答7分（計20分） 座長： 関根一希

15:40 - 16:00 清水隆一（川野研）

日本海の拡大に伴う関東北縁部マグマ活動の変遷

16:00 - 16:20 大熊明大（岩崎研）

炭を用いた大気中水銀のモニタリングに関する研究

16:20 - 16:25 閉会

\*\*\*\*\*

（注）日本気象学会に参加のため当日欠席する下の3名の院生については、11月2日に開催される「環境気象学コロキウム」（アカデミックキューブ A414 教室；18:00-19:30）での発表をもって第2回中間発表会のそれに読み代える。「環境気象学コロキウム」は一般に公開されており、学部生や学外者も聴講自由。

氏名：青木翔太（中川研・渡来研）

学年：M1

発表タイトル：那須おろし吹送時の風上地形の影響

氏名：中村祐輔（中川研）

学年：D1

発表タイトル：中小規模都市におけるヒートアイランド形成メカニズムに関する研究

—ドップラーライダを用いた大気混合層高度決定方法の検討—

氏名：高咲良規（吉崎研）

学年：D3

発表タイトル：長野市におけるドップラーライダを用いた山風の観測